



10月に入り肌寒い日もできましたね。7月に行ったインデックス調査結果と看護協会でのWLB研修会に参加しての報告をしたいと思います。*細かいインデックス調査の結果は別紙参照です。

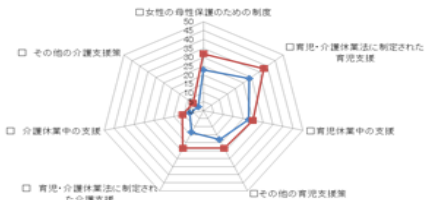
<看護職員背景>

	H27年	H28年
看護職員総数	360名	387名
平均年齢	36歳	36歳
離職率	8.3%	3.3%
有給休暇平均取得日数	5.7日	6.6日
正規職員平均勤続年数	12年6か月	13年
既婚率	63%	71%
夜勤体制	3交替	
院内保育所	あり	

昨年度より離職率が下がっています。(昨年に比べ定年退職が少なかったから?)
20名の増員がありました。

インデックス調査比較

(成果指標)①各種制度を認知し有効活用できる子育て・介護支援制度の認知度 20%→50%



認知度は全体的に上昇。介護支援に対する認知度のアップを目指す必要あり。

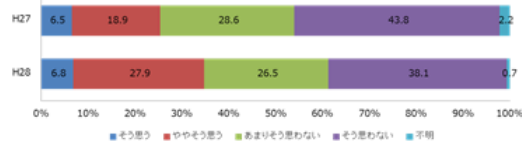
成果指標 ②残業時間11.3時間→10.2時間
サービス残業時間5時間→4.6時間
持ち帰り残業4.5時間→3.45時間

	H27	H28
残業時間	11.38時間	10.2時間
サービス残業時間	5時間	4.6時間
持ち帰り残業	4.58時間	3.45時間

全体的に
残業時間は
減少している

成果指標 ③定時で終わることのできない業務ではないと思う 72%→60%

定時で終わることができない業務である



あまりそう思わない
そう思わない群
72.4%
↓
64.6%

有給休暇取得率が上がったのは人員増があったからかな?

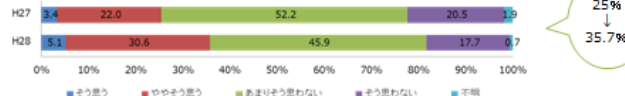
指標の数値アップの要因は何?
WLBが良い影響を与えていたらしいな~
今後は働き方が選べる職場づくりに力を入れます!

成果指標 ④ 有給休暇取得率 28%→40%

	H27	H28
有給休暇取得率	28%	33.1%

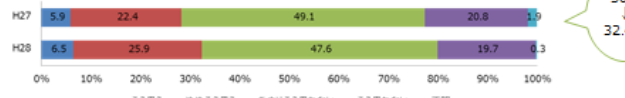
成果指標 ⑤ 看護ケアへの時間が十分取れる 25%→50%
⑥ 職員を大切にしている組織である 30%→50%

部署では看護ケアへの時間を十分にとれる



25%
↓
35.7%

職員を大切にしている組織である



30%
↓
32.4%

2年目の課題

- 介護支援制度への認知度が低い。今後は勉強会を行い認知度を上げていく予定。
- 時間に対するマネジメント能力をUP(個々の意識を高める)ために業務整理を行う。
- 自分達のライフスタイルとともに、病院経営にも参画できる働き方を提示していく。
二交代替・夜勤専従などの働き方の多様化